

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川勝 宣昭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菊地 徹 (TEL)03(6281)9861  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	444	△28.1	△252	—	△257	—	△259	—
2020年3月期第2四半期	618	△9.9	△135	—	△136	—	△82	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △259百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△24.18	—
2020年3月期第2四半期	△8.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	751	244	32.5
2020年3月期	794	404	50.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 244百万円 2020年3月期 404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	10,815,585株	2020年3月期	10,101,585株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,595株	2020年3月期	3,595株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,745,662株	2020年3月期2Q	10,098,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純損失、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症における経済活動の停滞及び長期化が懸念されております。当社グループを取り巻く事業環境においても、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

売上高は、室内装飾品関連では主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少となりました。メディカル関連は、五洋亜細亜株式会社におけるメディカルツーリズムサービス事業において、海外からの渡航制限が大きく影響し、0円となりました。

利益面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が大幅に減少したことと、また、販売費及び一般管理費において業務委託費及び賃借料が増加したため、大幅なマイナスとなりました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比28.1%減の444百万円、営業損失は252百万円（前年同四半期は135百万円の営業損失）、経常損失は257百万円（前年同四半期は136百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は259百万円（前年同四半期は82百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第3四半期以降におきましては、メインブランドであります「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による売上高の確保、メディカル関連におきましては、依然として新型コロナウイルス感染症における渡航制限が影響しており、慎重に見極める必要があると判断しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (室内装飾品関連)

売上高は、新型コロナウイルス感染症における経済活動の停滞に伴う工事の中断や延期等が影響し、主にマンションの業者への販売が振るわず減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比27.6%減の444百万円、営業損失は200百万円（前年同四半期は134百万円の営業損失）となりました。

#### (メディカル関連)

売上高は、新型コロナウイルス感染症の流行による渡航制限のため、医療を目的とした観光客が減少し、また販売費及び一般管理費も増加しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比100%減の0円、営業損失は51百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少して612百万円となりました。これは、現金及び預金が67百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が56百万円減少したことなどによります。固定資産は、16百万円増加して138百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）が18百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、751百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少して247百万円となりました。これは、短期借入金が50百万円減少、支払手形及び買掛金が20百万円減少したことなどによります。固定負債は、202百万円増加して259百万円となりました。これは、長期借入金が200百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、506百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ159百万円減少して244百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が259百万円になったこと、新株の発行により資本金、資本剰余金がそれぞれ49百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、連結業績予想の開示を行っておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	91,449	159,335
受取手形及び売掛金	200,637	144,042
商品	265,573	249,686
貯蔵品	2,843	5,580
未収入金	54,967	34,939
未収消費税等	-	9,124
その他	56,388	51,404
貸倒引当金	△210	△41,303
流動資産合計	671,650	612,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,568	24,958
その他（純額）	0	583
有形固定資産合計	6,568	25,542
無形固定資産		
ソフトウェア	-	1,477
無形固定資産合計	-	1,477
投資その他の資産		
破産更生債権等	87,776	88,839
差入保証金	87,145	84,555
その他	28,841	26,981
貸倒引当金	△87,776	△88,839
投資その他の資産合計	115,987	111,537
固定資産合計	122,555	138,556
資産合計	794,206	751,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,097	44,351
短期借入金	140,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	8,350	3,250
リース債務	2,156	2,131
未払金	60,283	65,823
未払法人税等	15,855	8,812
未払消費税等	15,412	2,752
賞与引当金	8,035	11,615
その他	18,272	18,968
流動負債合計	333,464	247,704
固定負債		
長期借入金	-	200,000
リース債務	4,934	3,877
退職給付に係る負債	36,911	35,496
資産除去債務	14,638	14,641
その他	-	5,237
固定負債合計	56,484	259,253
負債合計	389,949	506,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,434,489
資本剰余金	699,277	749,257
利益剰余金	△1,677,636	△1,937,445
自己株式	△1,893	△1,893
株主資本合計	404,256	244,408
純資産合計	404,256	244,408
負債純資産合計	794,206	751,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	618,389	444,829
売上原価	315,246	238,601
売上総利益	303,142	206,228
販売費及び一般管理費	438,464	458,236
営業損失(△)	△135,321	△252,008
営業外収益		
受取利息	-	224
受取配当金	441	0
為替差益	1,202	-
貸倒引当金戻入額	1	-
その他	3,504	872
営業外収益合計	5,149	1,097
営業外費用		
支払利息	2,235	5,772
売上割引	413	25
為替差損	-	367
その他	4,135	333
営業外費用合計	6,784	6,498
経常損失(△)	△136,955	△257,409
特別利益		
固定資産売却益	23,587	-
子会社株式売却益	59,974	-
特別利益合計	83,562	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	23,298	-
特別損失合計	23,298	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,691	△257,409
法人税、住民税及び事業税	5,315	2,398
法人税等合計	5,315	2,398
四半期純損失(△)	△82,007	△259,808
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△82,007	△259,808



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△82,007	△259,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	-
その他の包括利益合計	257	-
四半期包括利益	△81,749	△259,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,749	△259,808

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,691	△257,409
減価償却費	△1,598	1,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,609	42,156
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,040	3,579
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,442	△1,414
受取利息及び受取配当金	△781	△224
支払利息	2,235	5,772
のれん償却額	114	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△23,587	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△59,974	-
売上債権の増減額(△は増加)	72,792	56,594
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,900	13,149
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,396	△20,746
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,982	△12,659
その他の資産の増減額(△は増加)	△53,482	19,184
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,483	6,380
小計	△165,644	△144,459
利息及び配当金の受取額	780	224
利息の支払額	△2,232	△5,772
法人税等の支払額	△15,379	△9,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	△182,473	△159,611
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	12,113
有形固定資産の売却による収入	425,000	-
有形固定資産の取得による支出	△367	△20,060
無形固定資産の取得による支出	-	△1,528
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,698	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△20,983	-
貸付金の回収による収入	-	-
その他の収入	955	5,318
その他の支出	△56,855	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	345,052	△4,166

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	18,000	69,000
短期借入金の返済による支出	-	△119,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△176,755	△5,100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,142	△1,082
自己株式の取得による支出	△197	-
株式の発行による収入	-	99,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,095	243,777
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,483	79,998
現金及び現金同等物の期首残高	154,935	79,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	157,419	159,335

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

##### (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、2015年3月期以降営業損失を計上する状況が続き、当第2四半期連結累計期間においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するために以下の対応策を継続して実施しております。

室内装飾品関連は、①経営陣の刷新に伴うトップセールスによる新規顧客の開拓、②積極的なマーケティング及びデジタルマーケティングによる既存顧客の取引額のアップ、③パートナー（代理店）戦略の強化、④営業手法において顧客関係性マネジメント（CRM）の徹底及び営業支援システム（SFA）の導入により業務効率化、⑤メインブランド「サザンクロス」見本帳の大幅改訂により、一定の売上高は確保致しました。また、当期におきましては、「インハウス」見本帳の改訂に着手し、販売強化を実施して売上高の増加を図っています。

また、資金面におきましては増資または借入による長期安定資金の調達を検討し、投資家や事業会社と協議を進めてまいります。

しかしながら、売上高の増加に係る対応策につきましてはすでに着手しているものの、成果が出るまでに一定の期間を要します。そのため、同時に最大限の経費削減に努め、財務体質改善及び会社構造の改善に努めてまいります。また、資金調達に関しては調達先との協議に遅延が生じる恐れがあります。以上により、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

##### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月17日付で、HDD SINGAPORE PTE. LTD. から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金49百万円、資本準備金が49百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,434百万円、資本準備金が749百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	614,193	4,195	618,389	618,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	614,193	4,195	618,389	618,389
セグメント損失(△)	△134,286	△1,035	△135,321	△135,321

(注)1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	444,829	—	444,829	444,829
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	444,829	—	444,829	444,829
セグメント損失(△)	△200,835	△51,173	△252,008	△252,008

(注)1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。